

第一中学校跡地活用について

企画財政部・危機管理室・健やか部・地域振興部

第一中学校の跡地活用について、現時点における市の検討状況をお知らせします。

1 背景

- ◆ 令和7年4月の交野みらい学園開校に伴い、第一中学校は学校としての役割を終えましたが、その跡地は市にとって貴重な財産であり、売却をせず市民や地域のために有効活用していく方針です。
- ◆ しかしながら、みらい学園建設時の起債条件にて校舎や体育館を全て除却する必要があり、これに伴い大きく2つの課題をクリアする必要がありました。

校舎解体費用に5億円程度必要

市民負担(財政負担)の軽減

地域の避難所機能を確保する必要

避難所機能の維持



【検討の出発点】

財源確保を図りつつ、地域の安全・安心を確保するための手法を検討する必要があった。

2 検討のポイント

跡地活用では、次のポイントを踏まえ、地域課題を複合的に解決できるよう検討しました。

| | 検討のポイント | 市の考え |
|-----------------------|---|-------------------------------|
| 土地の沿革 | 地域最初の公立中学校として、長年子ども達の学び場として利用してきた | 今後も子ども達の育成のために活用したい |
| 地域課題の解決 (道路狭隘) | 物資搬入や総合防災拠点(いきいきランド・私部公園)との連携を想定するも、前面市道が狭い | 道路拡幅により防災機能強化に繋げたい |
| 地域課題の解決 (防災倉庫の確保) | 総合防災拠点には、防災備蓄物資を格納するための十分な保管スペースがない | 防災備蓄物資を格納する倉庫を確保したい |
| 地域課題の解決 (テニスコート集約) | 寺作業所跡地で計画していたテニスコート集約整備がコスト等の課題により困難となった | テニスコートの機能・敷地を確保したい |
| 子育て支援充実と まちの魅力アップ | 大阪・関西万博ルクセンブルクパビリオン部材を再利用した子育て支援施設の整備を検討 | 新たな子育て支援施設の敷地とし、まちの魅力アップに繋げたい |

3 跡地活用のコンセプト

- 「防災力強化」と「子育て支援」を軸に、跡地全体として付加価値の高い土地利用を図る
- 可能な限り財政負担を軽減(全市的なまちづくりとのバランスを踏まえた財源確保策の検討)



4 全体のイメージ

※現時点におけるイメージ図であり、今後の検討により細部が変更となる場合があります。



(6)子育て支援

- ・ 認定こども園敷地

(5)子育て支援+スポーツ振興

- ・ 芝生広場兼テニスコート
(約4,000㎡、整備費約1.5億円)

(4)子育て支援

- ・ 地域子育て支援センター
(パビリオン部材再利用)
(約600㎡、整備費約6億円)
※内訳：建物約4億円、遊具約1.5億円、駐車場等約0.5億円

(3)防災力強化

- ・ 前面道路拡幅
(整備費約1.5億円)

(2)防災力強化

- ・ 消防団車庫
(約240㎡、整備費約1.6億円)
- ・ 防災備蓄倉庫
(約200㎡、整備費約6000万円)
- ・ 防災車両倉庫
(約200㎡、整備費約6000万円)

(1)防災力強化

- ・ 避難所
(約700㎡、整備費約4.2億円)
- ・ 防災公園
(約2,200㎡、整備費約4300万円)

次ページ以降で、エリア別に説明します。

5 個別整備概要

(1)防災力強化 【避難所・防災公園】

- ✓ 屋内避難所機能を確保するとともに、災害時の避難・活動場所として防災公園を整備
- ✓ 屋内避難所は、平時に市民の活動スペース等として活用できるよう調整中



防災公園

| | |
|------|---|
| 面積 | 約2,200㎡ |
| 機能 | <ul style="list-style-type: none">● 避難所を囲むレイアウトで広場を配置● 防災用ベンチ以外にも遊具を配置予定 |
| 整備費 | 約43,000千円 |
| 完成時期 | 避難所と併せて完成予定 |

避難所

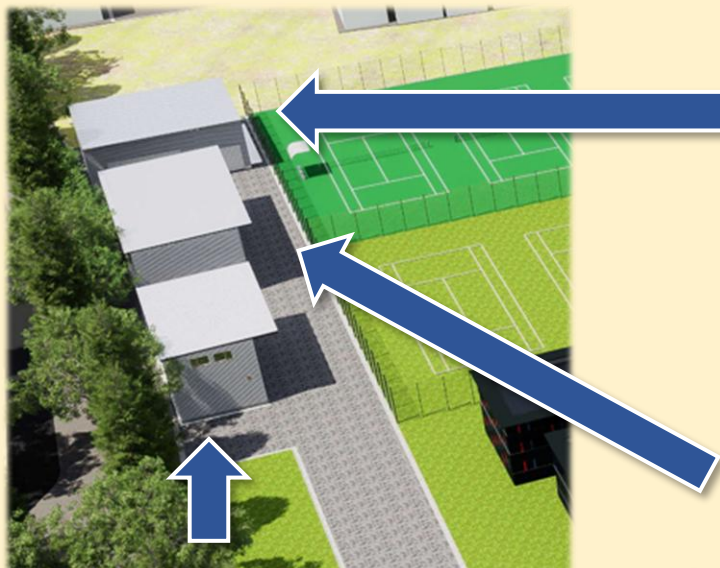
| | |
|------|---|
| 構造等 | 鉄骨平家建 延床約700㎡ |
| 機能 | <ul style="list-style-type: none">● 避難所の確保（交野みらい学園校区の避難所面積は増加）● 平時は市民の活動スペース等として活用できるよう調整中● 屋内外で利用可能なトイレを設置 |
| 整備費 | 約420,000千円 |
| 完成時期 | 令和9～10年度完成予定 |

財源確保の工夫

校舎除却費用を含め、緊急防災・減災事業債及び緊急自然災害防止対策事業債（地方交付税により7割国負担）を活用し、財政負担を軽減

(2)防災力強化 【消防団車庫・防災備蓄倉庫等】

- ✓ 消防団(私部分団)の車両や資機材を格納する車庫を始め、防災備蓄倉庫等を整備
- ✓ 倉庫前面のスペースは、消防団訓練等に活用予定



私部分団車庫

| | |
|------|---|
| 構造等 | 鉄骨2階建 延床約240㎡ |
| 機能 | <ul style="list-style-type: none"> ● 現在の車庫(住吉神社内)の老朽化対策として移転新設 ● 団の活動を支援する多目的室も設置 |
| 整備費 | 約160,000千円 |
| 完成時期 | 令和9年度完成予定 |

防災車両倉庫

| | |
|------|---|
| 構造等 | 鉄骨平家建 延床約200㎡ |
| 機能 | <ul style="list-style-type: none"> ● 大型防災車両を格納 |
| 整備費 | 約60,000千円 |
| 完成時期 | 令和9年度完成予定 |

防災備蓄倉庫

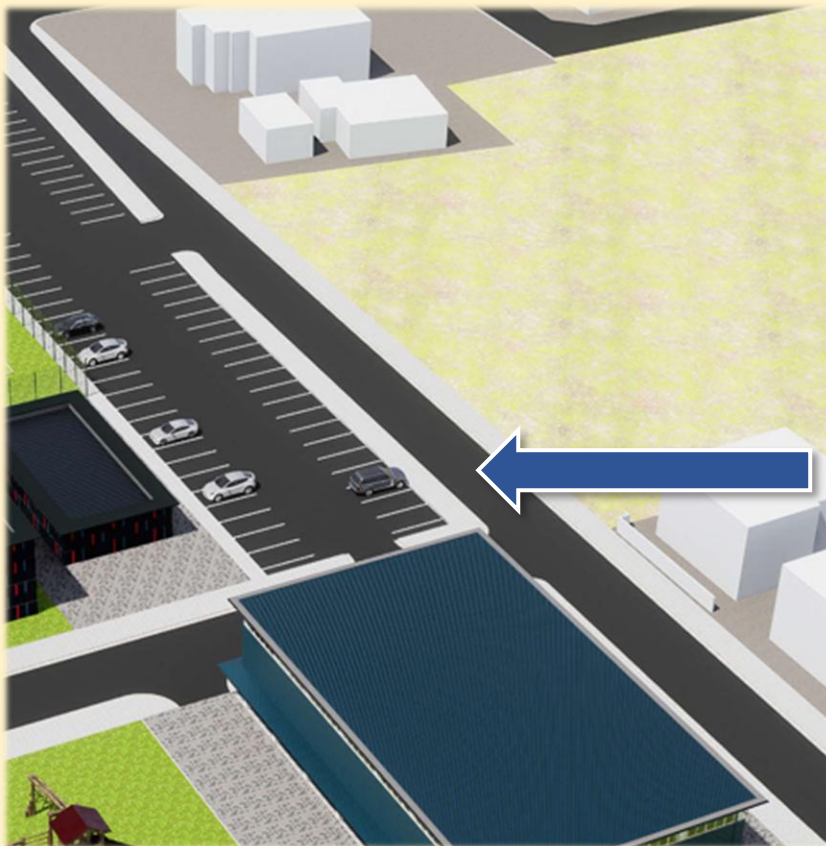
| | |
|------|--|
| 構造等 | 鉄骨平家建 延床約200㎡ |
| 機能 | <ul style="list-style-type: none"> ● 市や地域の防災備蓄物資を格納 |
| 整備費 | 約60,000千円 |
| 完成時期 | 令和9年度完成予定 |

財源確保の工夫

校舎除却費用を含め、緊急防災・減災事業債(地方交付税により7割国負担)を活用し、財政負担を軽減

(3)防災力強化 【前面道路拡幅】

✓ 施設整備と併せて、敷地前面市道の幅員を拡幅、歩道も整備



市道拡幅

機能

- 中学校敷地側に後退し、道路拡幅を図り、両側に歩道も整備（歩道幅5m（2.5m×2））
- 緊急時には、第二京阪側道側より大型車の進入が可能となるよう幅員確保（車道幅6m（3m×2））
- 敷地内には進入通路を整備

整備費

約150,000千円

完成時期

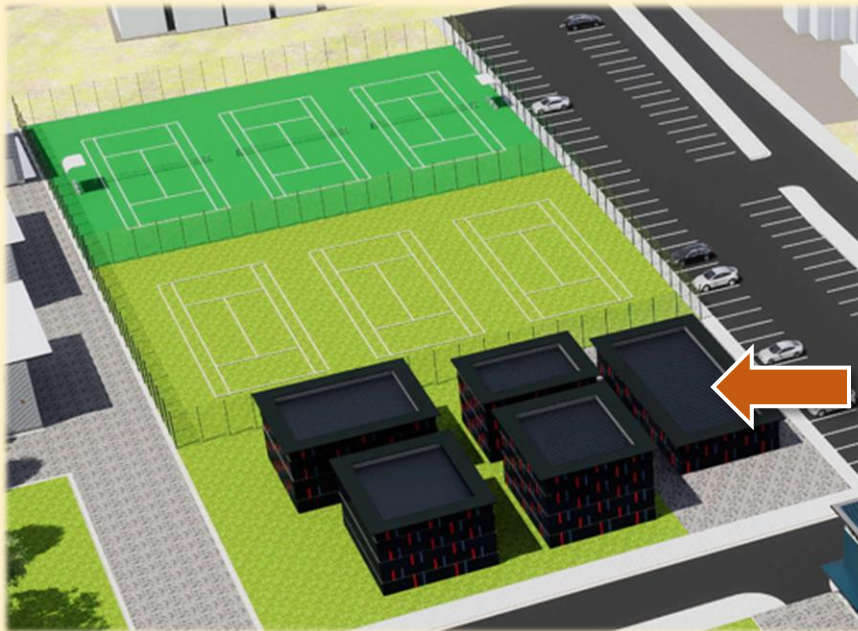
令和9年度完成予定

財源確保の工夫

緊急防災・減災事業債（地方交付税により7割国負担）を活用し、財政負担を軽減

(4)子育て支援 【地域子育て支援センター（パビリオン部材再利用）】

- ✓ ルクセンブルクパビリオンの部材を再生・再利用し、市立地域子育て支援センターを移転設置
- ✓ 未就学児が快適に遊べる屋内遊戯施設としての機能を追加



※ 現時点におけるイメージ図であり、現在策定作業を進めている基本計画に基づき、施設の配置やデザイン等が変更となる予定です。

（仮称）市立地域子育て支援センター

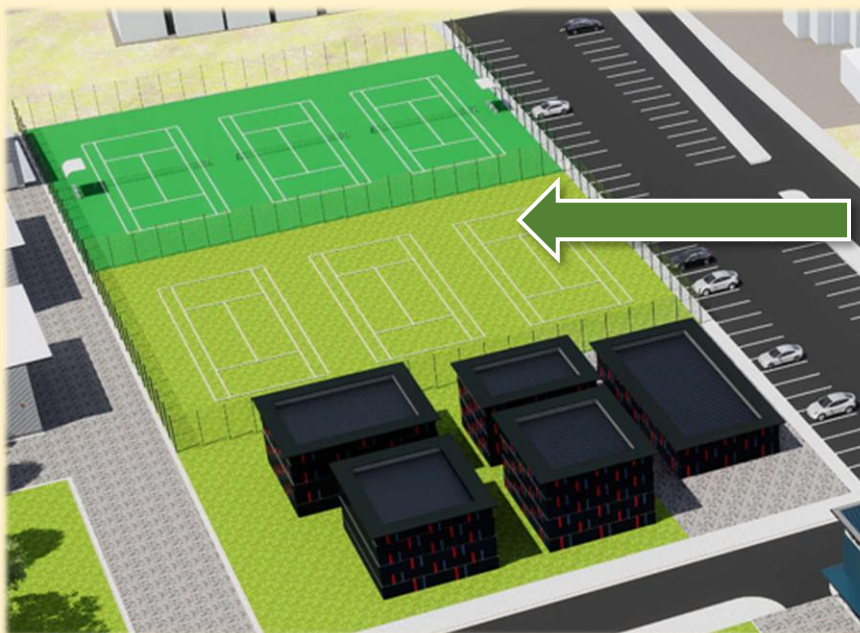
| | |
|------|--|
| 構造等 | 鉄骨平家建 延床約600㎡ |
| 機能 | <ul style="list-style-type: none"> ● 青年の家敷地にある「市立地域子育て支援センター」を移転するとともに、「子ども屋内遊戯施設」としての機能を追加 ● 大阪・関西万博にて使用されたルクセンブルクパビリオンの鉄骨等を再生し、新施設に再利用 ● 利用者用の駐車場も整備（確保数等について検討中） |
| 整備費 | 約600,000千円(設計費等を含む概算) ※内訳：建物約4億円、遊具約1.5億円、駐車場等約0.5億円 |
| 完成時期 | 令和9年度完成予定 |

財源確保の工夫

- ・ 地方創生交付金による財源確保を予定（補助率1/2）
- ・ 一般補助施設整備等事業債（地方交付税により27%国負担）を活用し、財政負担を軽減

(5)子育て支援＋スポーツ振興 【芝生広場兼テニスコート】

- ✓ 人工芝による4,000㎡の広大な広場を整備
- ✓ 子ども達が遊べる広場として、また、テニスコート6面としても活用できるよう、稼働状況を見ながら運用上の工夫を図る予定



芝生広場兼テニスコート

| | |
|------|--|
| 面積 | 約4,000㎡ |
| 機能 | <ul style="list-style-type: none">● 人工芝により整備し、テニスコート6面としても活用可能とする● 既設の私部公園テニスコート（4面）については、廃止のうえ南側を植栽し、フットサルコート等として再整備予定● 既設の倉治公園テニスコート（2面）については、廃止のうえ公園駐車場として再整備予定 |
| 整備費 | 約150,000千円 |
| 完成時期 | 令和9年度完成予定 |

財源確保の工夫

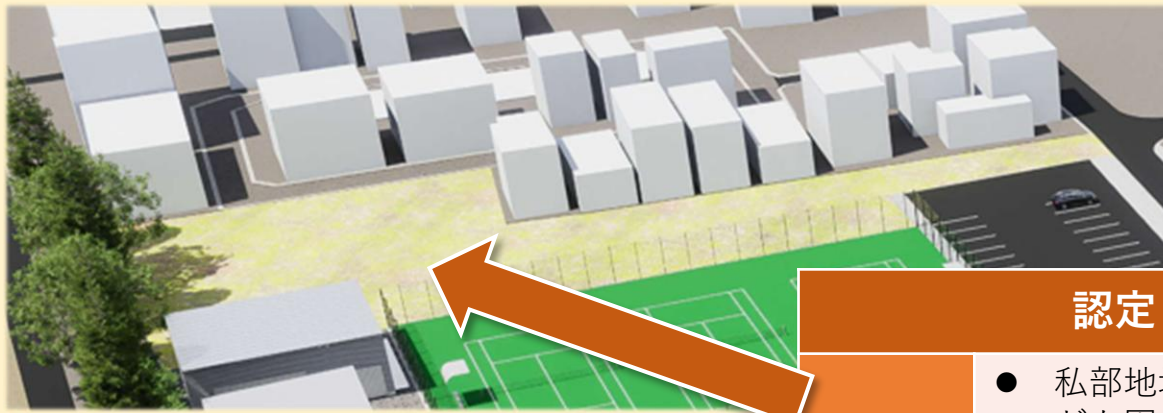
- ・ 地方創生交付金による財源確保を予定（補助率1/2）
- ・ 一般補助施設整備等事業債（地方交付税により27%国負担）を活用し、財政負担を軽減

(6)子育て支援 【認定こども園敷地】

✓ 地域の子ども達の育成のために活用すべく検討中(認定こども園の移転候補地)

【経緯】

- 私部地域の認定こども園「わかばこども園」より、老朽化が進み、耐震性能も満たしていないことから、市は移転に係る相談や要望の意向を受けていました。
- 本市においても、市役所本庁舎の耐震化に伴い防災機能強化が必要であることから、双方の課題解決を図るため、「既存園の敷地を市が取得し防災機能強化のため活用」し、「わかばこども園の移転候補地として一中跡地の一部を活用」すべく、関係機関等と調整中です。



認定こども園敷地

機能

- 私部地域に所在する幼保連携型認定こども園「わかばこども園」の移転候補地として関係機関等と調整中（移転時期は未定）
- 既存園の敷地は、市が取得し防災機能強化（防災指令センター設置）に活用すべく検討中

6 進捗管理・スケジュール

- 敷地の所管は危機管理室となりますが、活用の用途が複数分野に渡ることから、健やか部・地域振興部とともに検討・調整を図っています。
- 旧第一中学校校舎は令和8年中に解体・撤去が予定されており、各施設の工事は令和8年度末頃から随時着手する予定です。

| | 令和7年度 | 令和8年度 | 令和9年度 | 令和10年度 |
|---------------|---------|-------|-------|--------|
| 旧第一中学校校舎解体 | | 工事 | | |
| 避難所・防災公園 | | 設計 | 工事 | |
| 消防団車庫・防災備蓄倉庫等 | | 設計 | 工事 | |
| 前面道路拡幅 | | 設計 | 工事 | |
| 地域子育て支援センター | 検討・基本計画 | 設計 | 工事 | |
| 芝生広場兼テニスコート | 検討 | 設計 | 工事 | |
| 認定こども園 | 検討・調整 | | 検討・調整 | |

※検討状況等により、スケジュールが前後する場合があります。

7 概算費用見積もり

- 概算整備費用合計は約16.4億円ですが、国庫補助及び交付税措置を踏まえた実質的な市負担は約5.4億円を見込んでいます。

(千円、税込み)

| 区分 | 整備内訳 | 概算整備費 | | 財源内訳 | | | 交付税措置 見込み額 | 実質 市負担額 | 備考 |
|-----------------|-------------|-----------|---------|-----------|---------|---------|---------------|------------|---|
| | | | | 国庫補助 | 起債 | 一般 | | | |
| (1)防災力強化 | 避難所 | 420,000 | 893,000 | 0 | 893,000 | 0 | 625,100 | 267,900 | ・起債は緊急防災減災事業債・緊急 自然災害防止対策事業債（ともに充 当率100%、措置率70%） |
| | 防災公園 | 43,000 | | | | | | | |
| (2)防災力強化 | 消防団車庫 | 160,000 | | | | | | | |
| | 防災備蓄倉庫 | 60,000 | | | | | | | |
| | 防災車両倉庫 | 60,000 | | | | | | | |
| (3)防災力強化 | 前面道路拡幅 | 150,000 | | | | | | | |
| (4)子育て支援 | 地域子育て支援センター | 600,000 | 750,000 | 375,000 | 337,500 | 37,500 | 101,250 | 273,750 | ・地方創生交付金（補助率1/2） ・起債は一般補助施設整備等事業債 （充当率90%、措置率30%） |
| (5)子育て支援+スポーツ振興 | 芝生広場兼テニスコート | 150,000 | | | | | | | |
| 合計 | | 1,643,000 | 375,000 | 1,230,500 | 37,500 | 726,350 | 541,650 | | |

※金額は概算であり、今後の精査等により見直される場合があります。

8 ご意見受付フォーム

- ご意見がございましたら、右のQRコードからお寄せください。今後の検討の参考とさせていただきます。
- 受付窓口：企画財政部秘書政策課

